

RT3608  
データファイルコンバータ  
取扱説明書



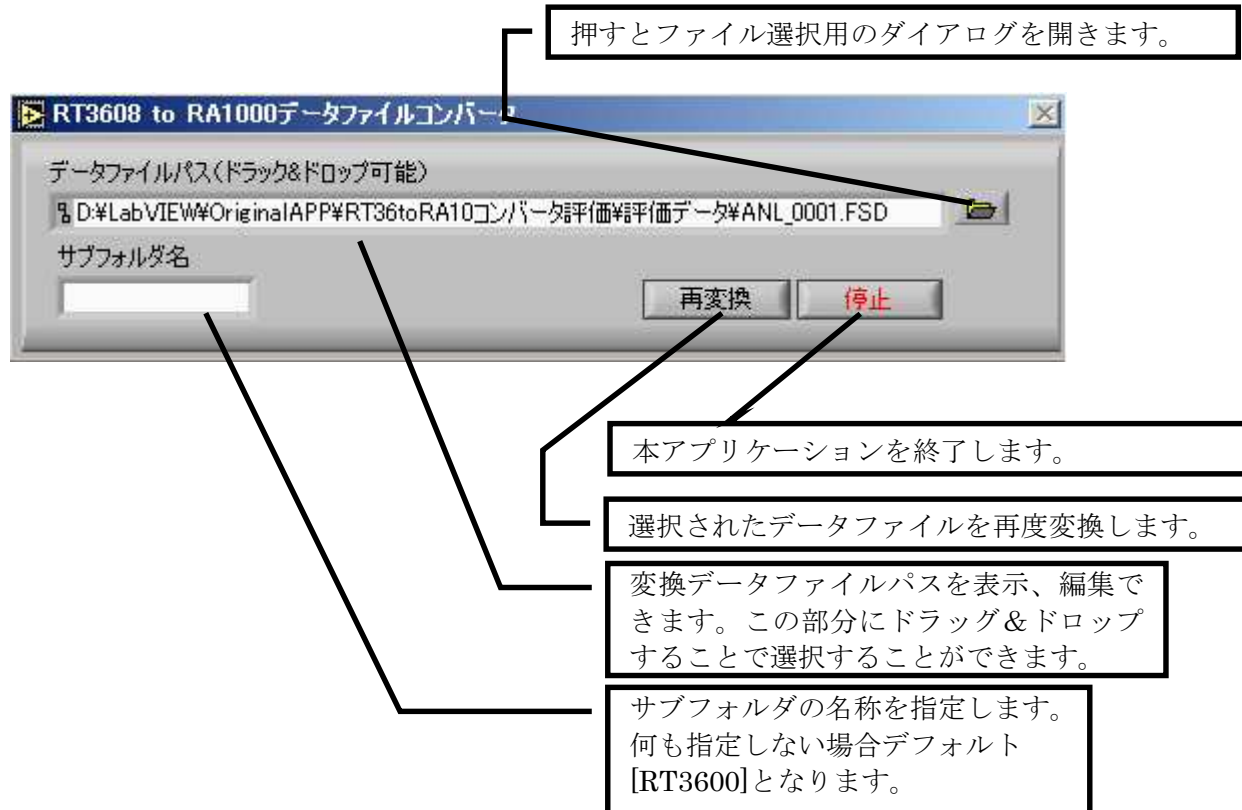
NEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社

## 1. 1. 概要

本アプリケーションはRT3608で収録したデータファイルをRA1000のデータファイルフォーマットへ変換するものです。変換したデータはRA1000及びNS2100で再生表示可能です。

## 1. 2. アプリケーションの使い方

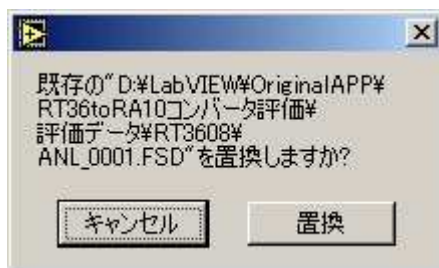
本アプリケーションを起動すると次の画面が表示されます。以下、各部の機能について説明します。



データファイルパスを変更すると、変換処理が開始されます。  
便利な使い方として、エクスプローラよりファイルをドラッグ&ドロップすることで（ドロップはデータファイルパスの白枠内）変換できます。

出力はデータファイルと同じフォルダにサブフォルダ名で指定する名称のフォルダを作成し、その下に変換前と同じ名称のファイルが作られます。

出力ファイルが既存の場合、次のウィンドウが表示され、「置換え」の確認を行います。



## 1.3. データ変換

データの変換は、RT3608のアンプを擬似的にRA1000用のものとして扱う事で行います。  
RA1000用のアンプに該当するタイプ、レンジが存在しない場合、物理換算の機能を使用します。

変換されるタイプは以下の通りとなります。

RT3608用アンプ (変換前)		RA1000用アンプ (変換後)	
・DC (DCアンプ	RT31-109,150,126)	HSDC(高速 DC アンプ	AP11-103)
・VR (感度微調DCアンプ	RT31-142,148)	HSDC(高速 DC アンプ	AP11-103)
・FL (フローティングDCアンプ	RT31-140,152)	HSDC(高速 DC アンプ	AP11-103)
・ZS (ゼロサプレッションアンプ	RT31-131,151)	HRZS(ゼロサプレッションアンプ	AP11-111)
※RM (RMS コンバータ	RT31-141,151)	HSDC(高速 DC アンプ	AP11-103)
・EV (イベントアンプ	RT31-110)	EV (イベントアンプ	AP11-105)
・TC (熱電対アンプ	RT31-143)	TDC(TC/DC アンプ	AP11-107)
・TD (温度電圧アンプ	RT36-122)	TDC(TC/DC アンプ	AP11-107)
※ST (DCストレンアンプ	RT31-111)	DCST(DC ストレアンプ	AP11-110)
・CG (チャージアンプ	RT31-159)	RMS(振動・RMS アンプ	AP11-109)
・FV (F/V コンバータ	RT31-112,146)	FV (F/V コンバータ	AP11-108)
※AS (ACストレンアンプ	RT34-123)	ACST(AC ストレアンプ	AP11-104)

※印のものは、変換に際して物理換算を使用しています。

この場合RT3608で設定された物理換算は無効となります。(STアンプのみ)

### 変換時の注意事項

変換後のファイルをRA1000シリーズで再生した場合、フィルタ設定など互換性のない情報は正しく表示されない場合があります。

印字位置、印字関連の情報は引き継がれません

ASアンプ 500 $\mu$ εのレンジで測定したデータファイルをコンバートした場合、RA1000 では正しく表示されません。NS2100 では問題ありません。